

2 鹿児島県大隅地域振興局：『地域内発型ノウフク・ネットワークの萌芽』

■ 県普及員が繋ぐ農業側と福祉側の出会い

鹿児島県大隅地域振興局では、農林水産部農政普及課の立和田氏を中心に、農福連携のネットワークが構築されつつある。同氏は技術専門員の立場で県内のあらゆる農業現場を指導してきた経験をもとに、農業技術のみならず、農業経営さらには地域経営の観点でも農業者や農業法人を見守ってきた。そして昨今では、労働力確保や経営力向上（マネジメントや販路開拓等）に悩む農業者の課題解決の一環として、農業に直接的・間接的に関わる様々な福祉事業者との出会いも必然的に増え、福祉事業から農業に参入するにあたっての課題解決の相談を受けるようになり、やがてはそれら農業側と福祉側の担い手達を引き会わせる機会も徐々に増えてきている。

■ ノウフク・プラットフォーム構築へ

立和田氏が農福連携に関わって約5年、本誌P.43「あまみん」の田中氏も同氏の薫陶を受け、それをきっかけとして飛躍を遂げた一人である。大隅地域においては、施設外就労の受け入れからさらに福祉事業所を立ち上げた（株）農栄（甘藷等）・（株）オキス（根菜類・乾燥野菜等）や施設外就労を受け入れる（株）村商（新村畜産・肉牛）などの農業法人や、福祉事業所から自ら農地運営を行うに至った白鳩会・ひまわり農苑（敬心会）・（株）ライズ（咲楽工房）、農業法人等から寄付を得て就労支援事業を行う（一社）パーソナルサービス支援機構など、多様な農福連携ネットワークの萌芽が見られる。

「今は個々のつながりだが、これがやがて大隅地域さらには県内へとネットワークが広がること」を展望としている。白鳩会・中村理事長が「これまでと同じやり方では限界がある。農福連携の広がりとともにやるべきこと」とクロストークミーティングでの発言があったように、大隅地域のノウフク・プラットフォームが生まれようとしている。

